

# 子どもの心を動かす 読み聞かせの本とは 解説&ブックガイド400

岡崎 一実・野口 武悟 共編

A5・240頁 定価(本体3,000円+税) ISBN978-4-8169-2799-7 2019年10月刊行

## 「読み聞かせ」がなぜ大切なのか

- 親に「読み聞かせ」をしてもらった記憶は一生消えない、たくさんの本を読んでもらった子どもは語彙が豊富など、子どもの心と言葉の成長に「読み聞かせ」がなぜ大切なのか解説します。
- 家庭や教室などシーンに即して「読み聞かせ」の楽しみ方、実例を紹介します。

## 「読み聞かせに向いている本」452冊を掲載

- 幼稚園・小学校の教員、司書教諭、学校司書、公共図書館司書、ボランティアなどにアンケートを実施し「経験の中で子どもたちの反応が良かった本」「手応えを感じた本」を集計しました。
- 「読み聞かせ」を行った場面、対象年齢・学年、作品の特徴、子どもたちの反応などの回答も掲載しました。

### ■編者プロフィール■

岡崎 一実 おかざき・かずみ：関東学院小学校校長。担任時代には毎日の読み聞かせを実施。著書に『ひげうさぎ先生の子どもを本嫌いにする9つの方法—親と子と教師のための読み聞かせガイド』（2004.10 柘植書房新社）など。

野口 武悟 のぐち・たけのり：専修大学文学部・大学院法学研究科教授、放送大学客員教授。日本子どもの本研究会（JASCL）会長。

### ■目次■

本書を読み進めるにあたって

解説編 「読み聞かせ」とは

第1章 なぜ「読み聞かせ」をするのか

第2章 読み聞かせを分類する

第3章 「読み聞かせ」と「ひとり読み」  
はまったく別物と考えたほうがよい

第4章 学力との関連

第5章 シーン① 家での読み聞かせ

第6章 子どもを本嫌いにならないために

第7章 ひげうさぎ先生の取り組み

第8章 シーン② 教室での読み聞かせ

第9章 読み聞かせボランティアはどう  
したらよいか

第10章 関東学院小学校での取り組み

ブックガイド編

2019.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	子どもの心を動かす 読み聞かせの本とは 解説&ブックガイド400 定価(本体3,000円+税) ISBN978-4-8169-2799-7	冊
		 9784816927997	

### (3) 時間の共有

「読み聞かせ」における物語の共有、場の共有のお話をしてきました。もう一つ、これがいちばん大事だと思う「時間の共有」について。

小学校に入ると国語で本の音読を家でしなさいという宿題がでることがよくあります。子どもが課題となっている文章を読んで、おうちの人聞いて、チェックをしたり、コメントを書いたりするというものです。音読チェックは、たとえば洗いや、洗濯物をたたむといった「ながら」で行うことが可能です。この場合、親はもちろん子どものために時間を割いているわけですが、子どものためだけに時間を使っているわけではありません。

一方「読み聞かせ」です。「ながら」音読宿題はできますが、「読み聞かせ」に関しては「ながら」は絶対できません。親御さんがしなければいけないこと、したいことをやめて、子どもと時間を共にしないと絶対できないのが「読み聞かせ」なのです。

「読み聞かせ」をしてもらうとき、お父さん、お母さんが自分のためだけに本を読んできた。すべてをやめて、お父さん、お母さんが本を読んできたという、それが、子どもにとって愛されているという実感のひとつになるだろうと思うのです。

ブックガイド編

## いるのいないの

京極夏彦作、町田尚子絵、東雅夫編  
岩崎書店 2012.2 1冊 29×22cm (怪談えほん) 1500円①978-4-265-07953-7

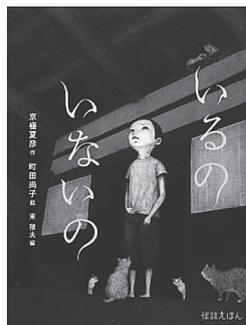
【内容】おばあさんの住む古い家でしばらく暮らすことになった。家の暗がりや気が気になって気が気になってしかたない。—京極夏彦と町田尚子が腹の底から「こわい」をひきずりだす。

【推薦者】 学校司書

【対象】 高学年

【場面】 図書の時間の読み聞かせ。

【ひとこと】 どの学年でもそれなりに喜ばれると思いますが、高学年に静かな調子で読み聞かせると、大変効果的です。



「いるのいないの」  
京極夏彦作 町田尚子絵 岩崎書店

## いろいろなほん

エルヴェ・テュレ作、たにかわしゅんたろう訳 ポプラ社 2014.5 1冊 23×23cm 1300円①978-4-591-13979-0

【内容】 いろがまざって、ながれて、あふれだす！まるまるまるのほんに続くエルヴェ・テュレの新感覚絵本。

【推薦者】 公共図書館スタッフ

【対象】 低学年

【場面】 絵の具遊びの導入として読み聞かせ。

【ひとこと】 本当に絵具で遊んでいるように見えて楽しめる。

## いわしくん

菅原たくや著 文化出版局 1993.11 1冊 27cm 1300円①4-579-40338-X

【推薦者】 学校司書

【対象】 低学年

【場面】 お昼休みの読み聞かせで。

【ひとこと】 デザインも爽やかないわしくんに同化する子がいます。